

ULVAC

株式会社 アルバック

決算説明資料

2021年度 第1四半期 2021年7月~2021年9月

2021年11月12日

証券コード：6728

Breakthrough 2022

将来見通しに関する記述についての注意事項

本資料に記載の業績見通しならびに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。

世界経済情勢、半導体・電子部品・FPD・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見通し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

1. 受注高は半導体・電子・FPD関連が引き続き好調、前年同期比倍増

- 半導体 : ロジック・メモリ需要拡大・微細化進展 (前年同期比**3.8倍**)
- 電子 : スマート社会進展に伴うエレクトロニクス市場拡大、中国の国産化投資活発化 (同**1.8倍**)
- F P D : LCD投資の継続、OLEDシフトの進展等により高水準で推移 (同**3.9倍**)

2. 売上高・営業利益も前年同期比増加

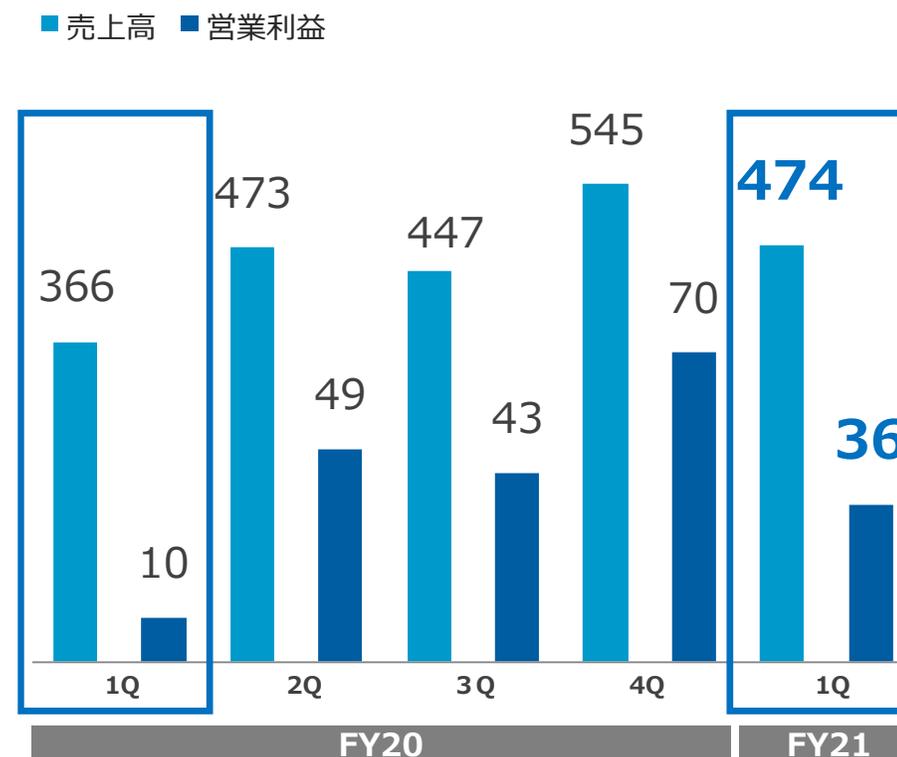
| | <u>前年同期</u> | <u>1Q実績</u> | <u>前年同期比</u> |
|-------|-------------|-------------|-----------------|
| □受注高 | 312億円 | 663億円 | + 351億円 (+112%) |
| □売上高 | 366億円 | 474億円 | + 109億円 (+30%) |
| □営業利益 | 10億円 | 36億円 | + 26億円 (+261%) |

- ロジック・メモリ投資やエレクトロニクス関連投資、LCD投資継続等により、受注高は高水準（前年同期比倍増）
- 売上高・営業利益も前年同期比増加

| 【単位：億円】 | 2020年度 1Q | | 2021年度 1Q | |
|----------------------|-----------|--|-----------|--------|
| | 実績 | | 実績 | 前年同期比 |
| 受注高 | 312 | | 663 | +351 |
| 売上高 | 366 | | 474 | +109 |
| 売上総利益 | 94 | | 132 | +38 |
| 率 | 25.7% | | 27.9% | +2.2pt |
| 販管費 | 84 | | 97 | +13 |
| 営業利益 | 10 | | 36 | +26 |
| 率 | 2.7% | | 7.5% | +4.8pt |
| 経常利益 | 10 | | 35 | +25 |
| 率 | 2.8% | | 7.4% | +4.6pt |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 3 | | 22 | +19 |
| 率 | 0.9% | | 4.7% | +3.8pt |

売上高と営業利益の推移

【単位：億円】



- 半導体は、需要拡大・ロジック分野のMHM※工程採用増・他工程参入で成長
- 電子は、化合物での実績、中国の国産化投資活発化に対応した技術営業力強化で成長
- FPDは、LCD投資の継続、OLEDシフトの進展等により高水準で推移

| 品目 | 主要製品分野 | 投資動向 | 主要ドライバー |
|-----|-------------------------------------|------|----------------------------|
| 半導体 | ● ロジック | ↗ | ● MHM工程採用増 ● 他工程参入 |
| | ● メモリ | ↗ | ● 配線工程での実績 |
| 電子 | ● パワーデバイス ● オプトデバイス ● 通信デバイス | ↗ | ● 化合物での実績 ● 中国国産化・技術営業力 |
| FPD | ● LCD | → | ● スパッタ装置シェアNo1維持 |
| | ● OLED | ↗ | ● 大型基板化でシェアアップ |
| その他 | ● コンポーネント ● マテリアル ● カスタマーサポート | → | ● 装置との連携 |

市場の拡大

- DX(デジタルトランスフォーメーション)・ICT(情報通信)加速化
- リモート活用の常態化
- 自動車のEV化
- AIの活用拡大
- 地政学リスク・サプライチェーン

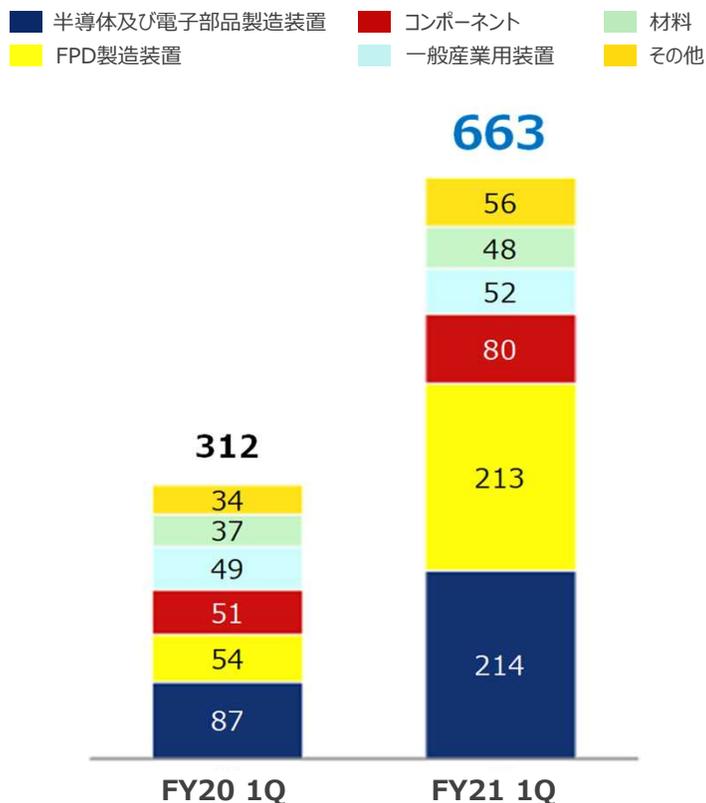
技術革新

- ロジック・メモリの微細化・大容量化・低消費電力化
- パワー・オプト・通信デバイスの微細化・高性能化
- ディスプレイの高精細化・フレキシブル化・大型化・低消費電力化

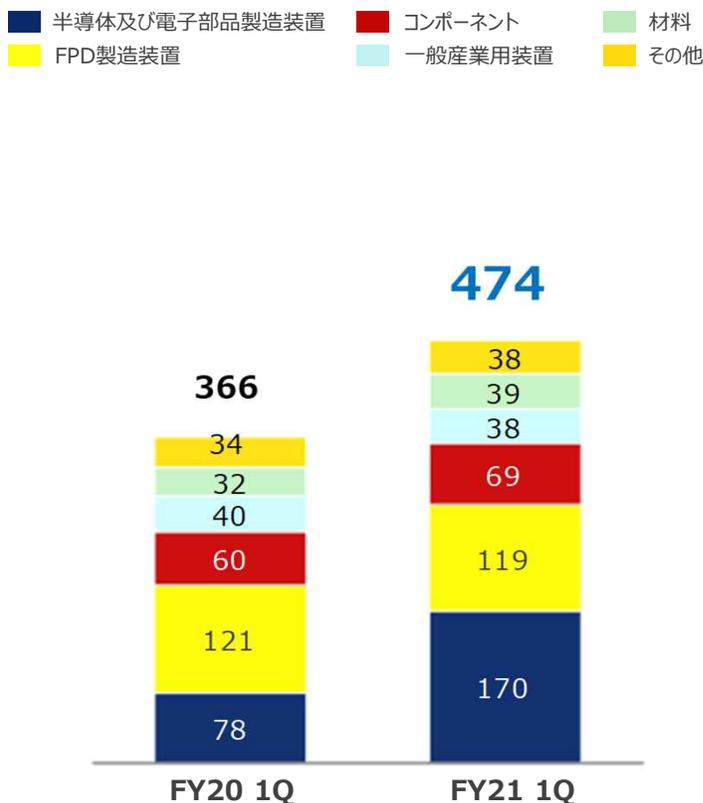
※EUV露光装置に対応したメタルハードマスク (MHM) 工程

- 半導体・電子・FPDの投資活発化等により、受注高は前年同期比倍増（部品長納期化に対応した前倒し受注あり）
- 売上高は、半導体・電子を中心に前年同期比増加

受注高 【単位：億円】



売上高 【単位：億円】



半導体・電子

半導体

ロジック投資活発化・メモリ投資継続

電子部品

パワー・オプト・通信デバイス等エレクトロニクス市場
拡大・中国国産化投資活発化

FPD

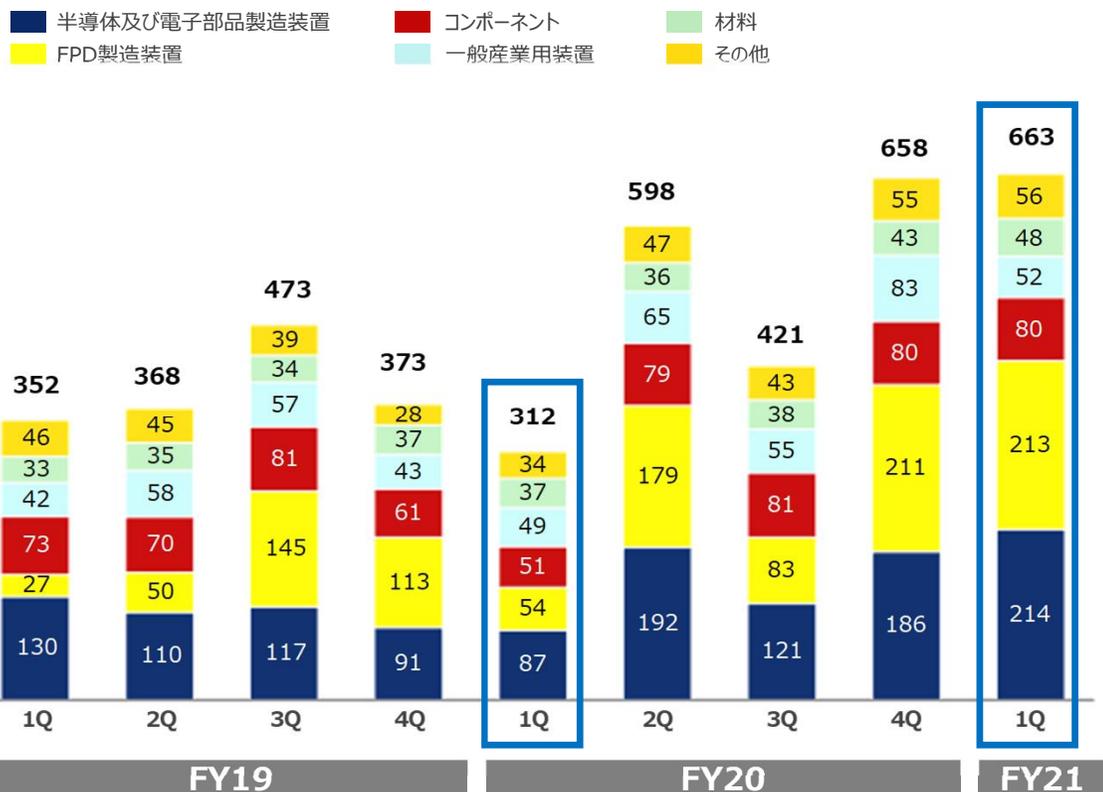
LCD投資継続

モバイル用OLED投資継続

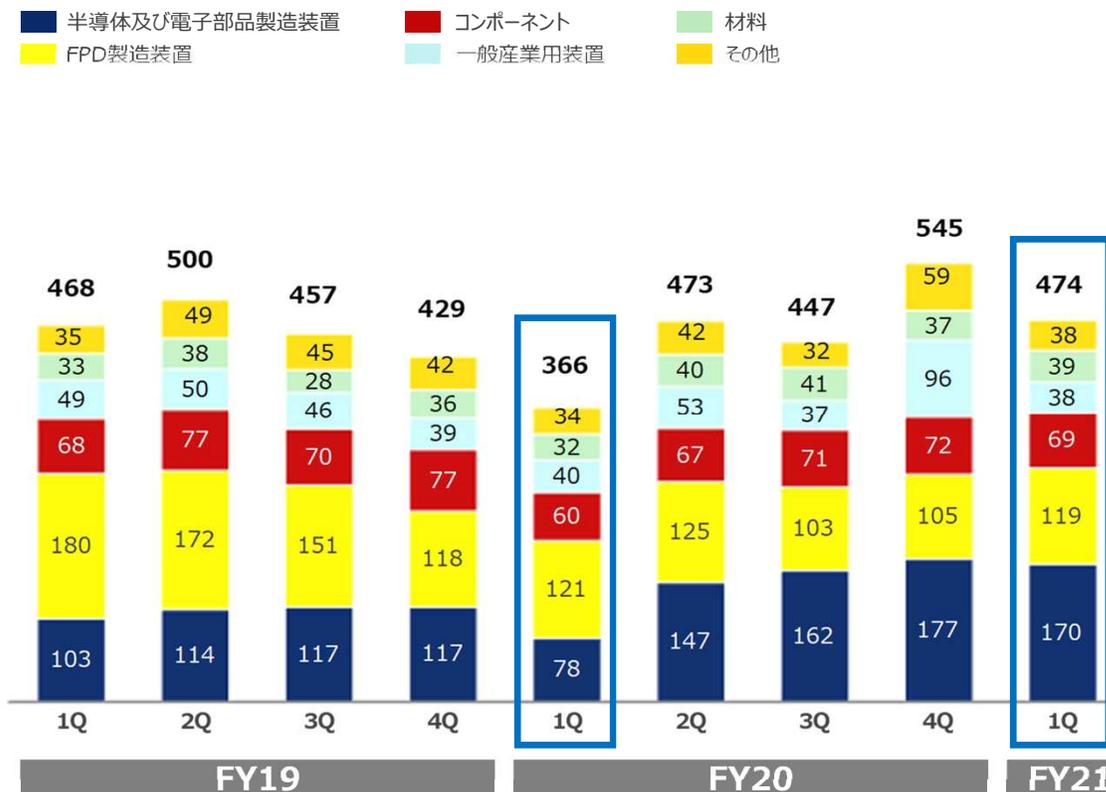
⇒タブレット・PC等ITパネルに用途拡大

- 半導体・電子・FPD関連が引き続き好調で受注高は高水準で推移

受注高 【単位：億円】



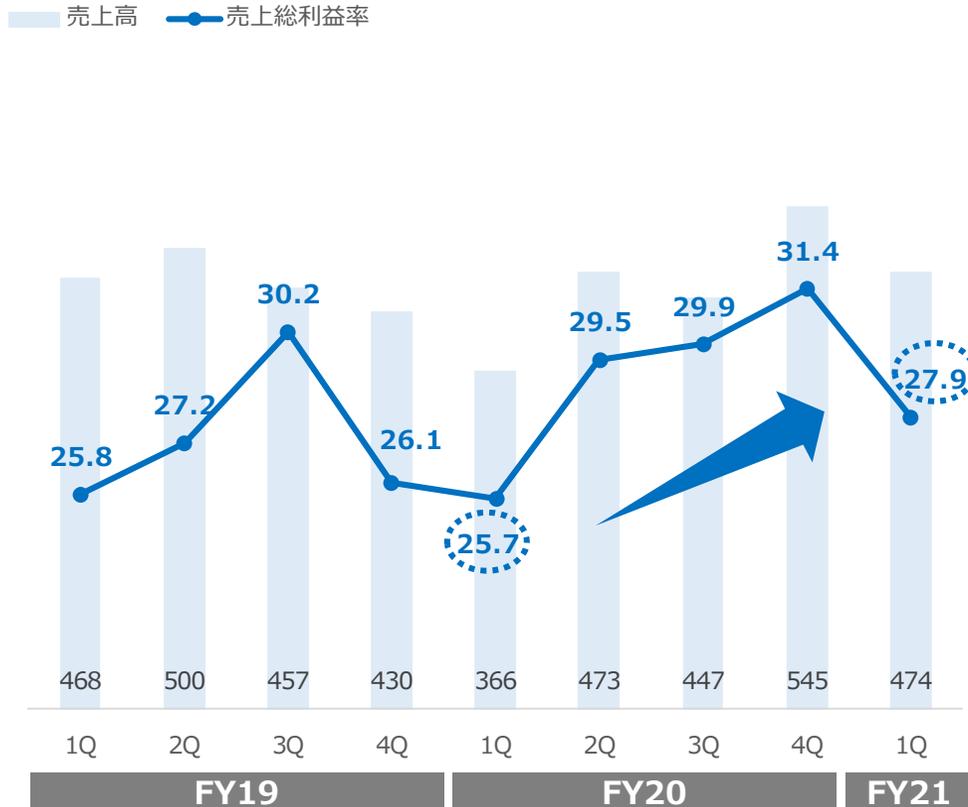
売上高 【単位：億円】



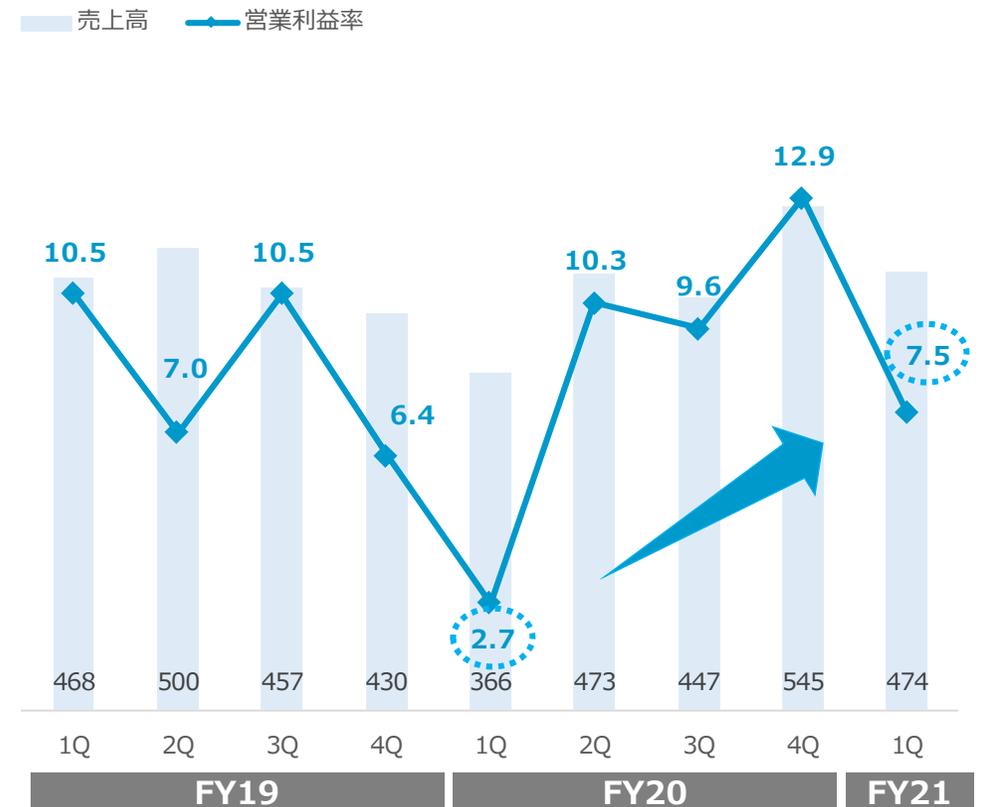
利益率は前年同期比改善

- 売上総利益率・営業利益率ともに前年同期比改善（前四半期比、売上高低下等により一時的に低下）

売上総利益率 【単位：億円、%】

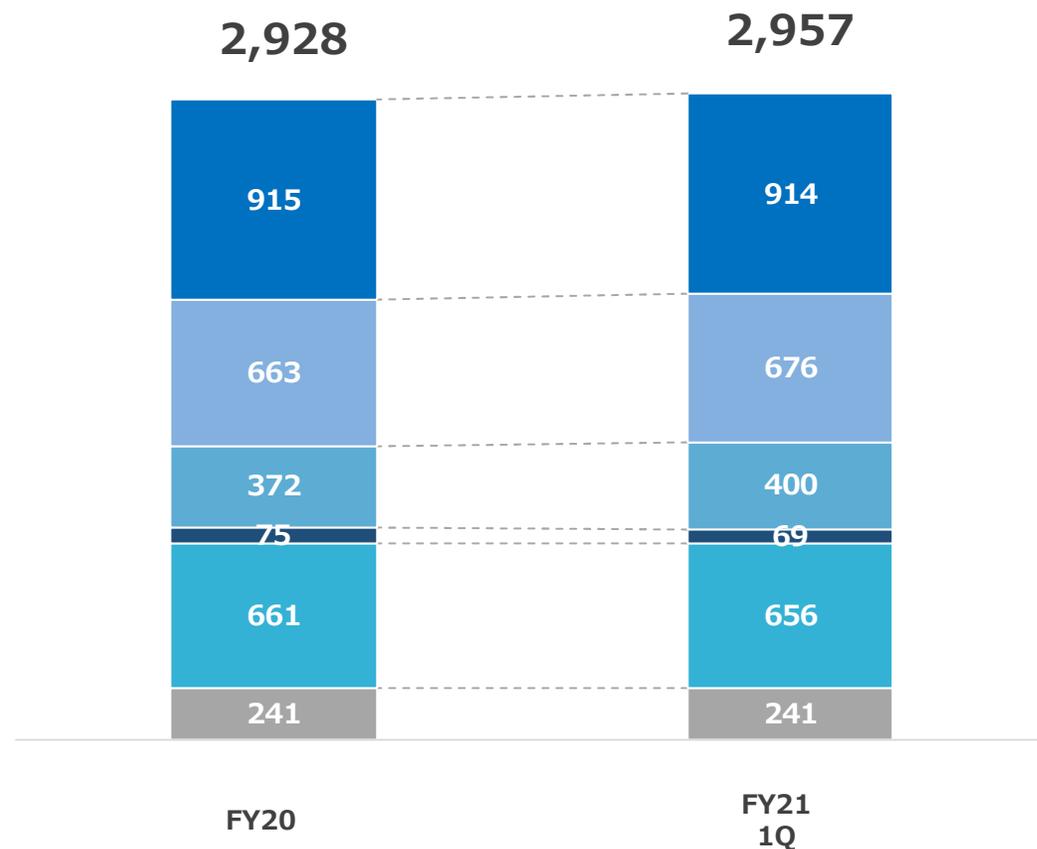


営業利益率 【単位：億円、%】



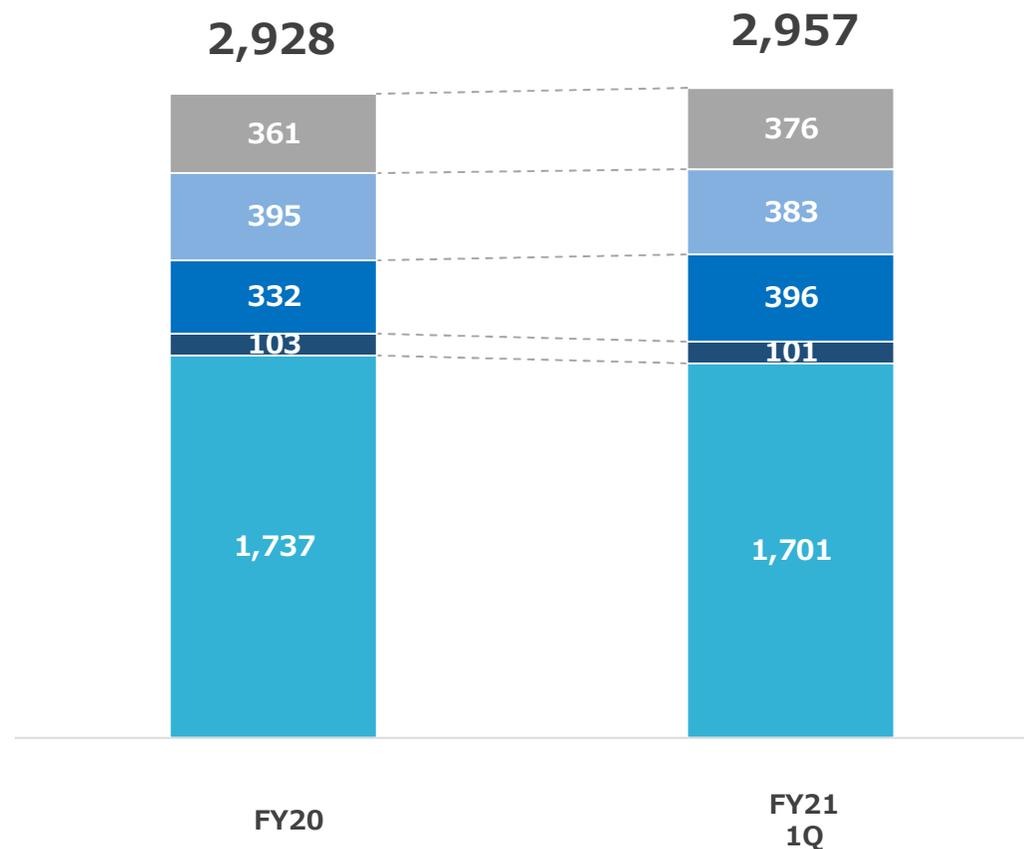
資産 【単位：億円】

- 投資有価証券 他 ■ 有形固定資産 ■ その他の流動資産
- 棚卸資産 ■ 受取手形・売掛金 ■ 現金・預金



負債・純資産 【単位：億円】

- 純資産 ■ その他固定負債 ■ その他流動負債
- 有利子負債 ■ 支払手形・買掛金



国立大学法人東京工業大学と 「アルバック先進技術協働研究拠点」を設置 －真空装置の高性能化を目指して－

株式会社アルバック と国立大学法人東京工業大学は、2021年9月、「アルバック先進技術協働研究拠点」を東工大大岡山キャンパス内に設置しました。

開設時のテーマとしてプラズマ計測技術やAI技術に関して共同で研究を進めます。

また、共同研究のみにとどまらず人材育成なども含めた幅広いつながりで、アルバックと東京工業大学双方の発展につなげていきます。



写真左からアルバック 代表取締役社長 岩下節生、東工大 益一哉学長

国連グローバル・コンパクトに署名

国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト」の趣旨に賛同・署名し、2021年9月、参加企業として登録されました。併せて、「グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン」に加入しました。

アルバックグループはこれまで、「真空技術及びその周辺技術を総合利用することにより、産業と科学の発展に貢献することを目指す」という経営基本理念を基にサステナビリティ方針を策定し、人々の暮らしに不可欠な基礎技術である「真空技術」による価値提供を通じて、より安全、安心かつ豊かな社会の実現に取り組んできました。

今回の署名により、国連グローバル・コンパクトの10原則を遵守・実践し、グローバル企業として責任ある経営をより一層推進するとともに、顧客とともに主要な社会・環境課題の解決に貢献し続けます。



| 【単位：億円】 | 2020年度 | | | | 2021年度 | | |
|----------------------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 前年同期比 | |
| | | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 受注高 | 312 | 598 | 421 | 658 | 663 | +351 | +112% |
| 売上高 | 366 | 473 | 447 | 545 | 474 | +109 | +30% |
| 売上総利益 | 94 | 139 | 134 | 171 | 132 | +38 | +41% |
| 率 | 25.7% | 29.5% | 29.9% | 31.4% | 27.9% | +2.2pt | |
| 販管費 | 84 | 91 | 90 | 101 | 97 | +13 | +15% |
| 営業利益 | 10 | 49 | 43 | 70 | 36 | +26 | +261% |
| 率 | 2.7% | 10.3% | 9.6% | 12.9% | 7.5% | +4.8pt | |
| 経常利益 | 10 | 50 | 41 | 78 | 35 | +25 | +242% |
| 率 | 2.8% | 10.6% | 9.2% | 14.4% | 7.4% | +4.6pt | |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 3 | 42 | 37 | 66 | 22 | +19 | +589% |
| 率 | 0.9% | 8.9% | 8.3% | 6.7% | 4.7% | +3.8pt | |

さまざまな業界・用途で貢献する アルバックの真空技術



ULVAC